

平成26年12月3日

平成26年度「東アジア文化交流使」の決定について

本年11月に開催された「第6回日中韓文化大臣会合」において、日中韓各国が自国の中堅・若手芸術家等を一定期間派遣し、実演やワークショップ等を行う「東アジア文化交流使」を実施していくことが合意されました。

文化庁では、この合意事項を受け、このたび、以下のとおり、平成26年度「東アジア文化交流使」を決定しましたので、お知らせします。略歴は別紙を参照ください。

(敬称略, 50音順)

氏名	性別	プロフィール	活動国	派遣期間(予定)	活動内容(予定)
池田 卓	男	音楽家	韓国	平成27年 1月末～2月上旬	ソウル及び済州等において、沖縄の伝統芸能や音楽に関する公演及び講義を実施する。
柴 幸男	男	劇作家・ 演出家	中国	平成27年 3月中～下旬	北京等にて、現地の俳優とともにワークショップや講演を行う。
多田 淳之介	男	演出家	韓国	平成26年 12月中旬～下旬	ソウル等にて、現地アーティストとともにフィールドワークやパブリックトークを実施する。
山田 うん	女	振付家・ ダンサー	中国	平成27年 3月上旬～中旬	北京等にて、自身のカンパニーの所属ダンサーとともに作品の上演やワークショップを行う。
WASABI	男	新・純邦楽 ユニット	中国	平成26年 1月上旬	北京及び上海等にて、和楽器を使用した公演やワークショップを行う。

<担当> 文化庁長官官房国際課
課長 佐藤 透 (内線 2845)
国際文化交流室長 大條 成太 (内線 3153)
国際文化交流室長補佐 土居 孝一 (内線 3166)
振興係長 堀口 昭仁 (内線 3167)
電話 : 03-5253-4111 (代表)

いけだ すぐる
池田 卓（音楽家）

【出身地】沖縄西表島船浮

【生年月日】1979年5月24日

西表島にある船浮（ふなうき）という小さな集落で生まれ育つ。19歳の夏、島の芸能祭に参加したのをきっかけに本格的に音楽活動を開始。2000年10月『島の人よ』でCDデビュー。2005年には『心色』で全国デビュー。ベストアルバムや八重山民謡アルバムを含め、これまで10枚のCDを発表。その楽曲はCMにも数多く起用されている。現在は、ライブ・祭り・イベントと全国で活動する傍ら、ラジオパーソナリティーや講演活動、執筆、声優、また映画の主演を務めるなど多方面で活躍中。また、離島ライブや海外ライブにも多数出演、活動の幅を更に広げている。



【略 歴】

- 1993 日韓友好の翼に沖縄県代表（20名）として参加（当時中学2年生）
- 2000 『島の人よ』にてCDデビュー
- 2005 『心色』にて全国デビュー
- 2007 故郷・船浮にて音楽イベント「船浮音祭り」を企画・プロデュース
- 2008 シリア、ヨルダン、イエメンにて開催された「中東沖縄音楽公演」にてメインボーカルとして参加
- 2009 KACHIMBA4 とのアメリカ・カナダツアーに参加
- 2011 活動拠点を沖縄本島から船浮に移す
サウジアラビア「ジャナドリア祭」に参加
「ミュージック&リズムス」チェコ、ドイツ公演に参加
- 2012 「ミュージック&リズムス」アメリカ、中国公演に参加
ハワイ「沖縄フェスティバル」に那覇太鼓とともに参加

【公式サイト】<http://www.suguru-i.jp/top.html>

しば ゆきお
柴 幸男 (劇作家・演出家)

【出身地】愛知県一宮市

【生年月日】1982年11月3日

「青年団」演出部所属,「急な坂スタジオ」レジデント・アーティスト。日本大学藝術学部在学中に『ドドミノ』で第2回仙台劇のまち戯曲賞を受賞。2010年に『わが星』で第54回岸田國士戯曲賞を受賞。

一人芝居をループさせて大家族を演じる『反復かつ連続』,全編歩き続ける芝居『あゆみ』,ラップによるミュージカル『わが星』,朝の一瞬を切り取った一人芝居『朝がある』など,新たな視点から普遍的な世界を描く。

近年は,レパートリー作品の全国ツアーや地方公共ホールとの共同創作,名古屋での新作児童劇の創作や国際芸術祭への参加など,東京以外の場所での活動も多い。

現在「ままごと」ホームページ上にて,過去の戯曲を無料公開中。



【主な活動歴】

- 2004 『ドドミノ』にて第2回仙台劇のまち戯曲賞大賞受賞
- 2009 『チャイニーズ・スープ』演出(作:平田オリザ)
ままごと『わが星』作・演出
- 2010 福島県立いわき総合高校アトリエ公演『いわきのあゆみ』作・演出
『わが星』にて第54回岸田國士戯曲賞受賞
- 2011 ままごと『わが星』全国ツアー
- 2012 ままごと『あゆみ』(福岡・香川・新潟)作・演出
ままごと『朝がある』作・演出・音楽
- 2013 あいちトリエンナーレ2013『日本の大人』作・演出
瀬戸内国際芸術祭2013『港の劇場』構成・演出・出演
- 2014 青年座『あゆみ』作・演出
ままごと『わたしの星』作・演出

【公式サイト】<http://www.mamagoto.org/>

ただ じゅんのすけ
多田 淳之介 (演出家)

【出身地】千葉県柏市

【生年月日】1976年9月8日

演出家，東京デスロック主宰，富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ芸術監督，青年団演出部。古典から現代劇，パフォーマンス作品まで幅広く手がけ，近年は客席と舞台の区分けをなくすなど観客の当事者性，現在性をフォーカスした作品を発表している。地域，教育機関，海外でのアウトリーチ，共同製作など幅広く活動する。2010年国内歴代最年少で公共劇場の演劇部門の芸術監督に就任。2013年『가모메 칼메기』にて韓国で最も権威のある東亜演劇賞を外国人演出家として初受賞。



【略 歴】

- 1999 「動物電気」に俳優として所属
- 2001 夏目慎也，石淵貴士とともに自身が主宰する「東京デスロック」を旗揚げ
- 2003 青年団演出部に所属
- 2008 「東京デスロック」として，3年間，埼玉県富士見市民文化会館キラリ☆ふじみのレジデントカンパニーとして活動
- 2009 韓国ソウルでの第12言語演劇スタジオとの合同公演を開催
- 2010 埼玉県富士見市民文化会館キラリ☆ふじみの芸術監督に公共文化施設の演劇部門では国内歴代最年少で就任
- 2011 フランス・ジュヌビリエ国立演劇センターでの Festival TJCC に招へい
- 2013 Doosan Art Center 及び第12言語演劇スタジオの共同制作による『가모메 칼메기』（原作アントン・チャーホフ「かもめ」）にて演出を行う。本作品が，第50回東亜演劇賞にて作品賞，演出賞，視聴覚デザイン賞を受賞

【公式サイト】<http://deathlock.specters.net/>

やまだ
山田 うん (振付家・ダンサー)

【出身地】神奈川県茅ヶ崎市

器械体操、バレエ、舞踏などを経験し、ダンサー・振付家として活動する。2002年ダンスカンパニー「Co.山田うん」設立。日本における希少なコンテンポラリーダンスのカンパニーとして、意欲的に作品を発表し、国内外で注目される。

音楽、美術、文学、学術、ファッション、伝統芸能など異分野とのコラボレーションを行うほか、演劇やオペラの劇中振り付けや新体操選手への振り付けも行う。また、子供、市民、高齢者、障がい者など様々な対象に向けたワークショップを多数行い、創作ダンスを発表するなど、日本におけるコミュニティ・ダンスの草分けとして活動。2014年、第8回日本ダンスフォーラム大賞受賞。



Photo by Maiko Miyagawa

【略歴】

- 1996 振付家として作品を発表
- 1998 ソロダンサーとしての活動も開始
- 1999 文化庁派遣国内インターンシップ研修員に着任
- 2000 横浜ダンスコレクション・ソロ×デュオコンペティションにおいて
「若手振付家のための在日フランス大使館賞」を受賞し渡仏
- 2002 ダンスカンパニー「Co.山田うん」設立
- 2010 『ショーメン』発表
- 2012 『季節のない街』発表
- 2013 『山田うんソロダンス ディクテ DICTEE』北京公演にて振付・演出・出演
- 2014 ワークショップ作品『春告歌』『結婚』北京公演にて振付・演出
第8回日本ダンスフォーラム大賞受賞

【公式サイト】 <http://yamadaun.jp/>

WASABI (新・純邦楽ユニット)

メンバー：吉田 ^{よしだ} 良一郎 ^{りょういちろう} (津軽三味線) ※

^{もとなが} 元永 ^{ひろむ} 拓 (尺八)

^{いちかわ} 市川 ^{しん} 慎 (箏・十七絃)

^{びほう} 美鵬 ^{なおさぶろう} 直三朗 (太鼓・鳴り物)

※吉田良一郎は怪我のため、吉田健一（津軽三味線）が代演いたします。



吉田兄弟の兄・吉田良一郎が立ち上げた新・純邦楽ユニット。先人が残してくれた素晴らしい民謡や古典の要素を用いながら、今の感性にあったアプローチで“和の格好良い”音楽を作ることテーマに活動している。特に若い世代に和楽器の魅力を伝えるため、日本全国各地で学校公演を多数実施している。また、学校公演では体験コーナーを設けるなど、楽器と触れる機会を持つようにしている。

【略 歴】

- 2008 吉田兄弟(兄)の吉田良一郎が学校公演プロジェクト「日本の心 和の響き」と題し、元永拓・美鵬直三朗と活動を始める
- 2010 市川慎が加入。津軽三味線 / 尺八 / 箏・十七絃 / 太鼓・鳴り物による代表的な和楽器が集結した新・純邦楽ユニットが誕生する
- 2011 「WA」=和, 「SABI」=サビ（盛り上がり）という意味合いからグループ名を命名
一般公演もスタートし、現在に至るまで様々な舞台への出演, 音楽を担当
- 2012 デビューアルバム『WASABI』発表
- 2013 海外公演スタート
外務省主催「日・ASEAN 友好協力 40 周年記念公演」
(フィリピン, シンガポール, インドネシア)
日本伝統文化振興財団創立 20 周年記念 台湾公演
- 2014 国際交流基金主催「EUROPE TOUR 2014」(ドイツ, クロアチア, チェコ)
セカンドアルバム『WASABI 2』発表

【公式サイト】 <http://www.japan-wasabi.jp>